

いたやなぎ 町議会だより

平成31年
3月定例会

第21号
2019. 5. 10

主な内容

- 3人が一般質問 P2～4
- 常任委員会審査 P5
- 予算特別委員会 P6～7
- 研修報告 P8～9

おらほぢの自慢！
～とどけ天へ豊作の舞～

板柳町指定文化財第5号 五林平太刀振り（五林平）

町民の声を町政に

第13回定例会一般質問

第13回板柳町議会定例会が3月5日から13日までの日程で開催されました。3月7日に行われた「一般質問」に、3名の議員が登壇し質問しました。

一般質問は、議員の日常活動と町民の声や議員自身の考え方をもとに町長や教育長などの方針を問うものです。板柳町議会では、1人60分の制限時間があります。議会だよりは、スペースの都合上、一人1ページ相当の文章量までとし、質問と答弁が要約してあります。臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。



町の指定文化財

問 町には現在18の指定文化財があるが、現在の管理体制はどのようになっているか。また今後の管理体制をどのように考えているか。

答 (永澤教育長) 該当文化財の全部または一部が滅失や毀損した場合は、速やかに連絡をいただき、管理方法の改善、修繕内容等を所有者に勧告することになっている。

問 文化財があるところには教育委員会の名前で記載した木の標柱が立っている。この標柱をマップ化して、教育的活用もできると思うがいかがか。

答 (永澤教育長) 十分活用して、教材等に使用していただけるものだと考

板柳駅の整備と活用

問 板柳駅について、JRと連携し、何らかの整備及び新しい有効活用などを進める考えはないか。

答 (成田町長) 本年度においてはホーム内の町観光PR看板6基の取り替えを行った。そのほかに関しては現在のところ特に計画はない。

問 板柳駅の中には広告ポスターを貼ってもらっているが、年間契約か何かして、板柳駅のホームに広告スペースを設け、町のPRをできないか。有効活用できないよう、町としての考えはないか。

答 (成田町長) 今後JRのほうに聞きながら、経費などについて調べるからお話ししたいと考えている。

問 また、PRのために、藤崎町や鶴田町では独自の列車の発車ベルの音をつくっている。板柳町でも独自のものを考える考えはないか。

現町政が考えるりんごの里板柳とは

問 町では、平成23年3月、長期振興計画(第5次)「りんごの里」プラン2020を策定した。「あずましい・元気な・誇れるいたやなぎ」をつくろうを基本としているが、現町政では「より豊かな、より快適な、より元気なりんごの里板柳」に変わっている。

答 (成田町長) 基本計画に変更があったのか。また、表現方法が変わった理由は何か。

問 基本計画に変更はない。現在発信している「より豊かな、より快適な、より元気な」という表現は、今一番強く訴えたいことを短くわかりやすいフレーズにあらわしたものである。

答 (成田町長) 議決を受けたものに対して、簡単に変えていいのか、その辺の解釈はどのように考えているか。

問 「りんごの里」プラン2020との方向性あるいは目指すべき町の姿、これは私と全く同じ考えである。

確かに表現は違うが、その表現というのは時代の変更や、社会の要請など、それによってわかりやすく表現していくことが私の役目だと理解している。

問 商店街活性化及び観光、町のPR強化などを目指す上で、商工観光課ともいべき新しい課を設置する考えはないか。

答 (成田町長) 商工観光部門に特化した課の設置は考えていない。

問 老朽化が進む町の公共施設を踏まえて、今後のまちづくりをどのように考えているか。

答 (成田町長) 緊急性等を考慮し、優先すべきものは優先し、財政状況を勘案しながら対応したいと考えている。

問 まちづくりに対しての町長のビジョンを教えてください。

答 (成田町長) 全国の自治体においてはちょうど公共施設の建て替え時期を迎えている。施設の緊急性、あるいは町民の要望度などを総合的に考えながら進めていく。



三戸 玲子

小学校入学者数

問 今年度、各小学校に入学者する児童の人数は。

答 (永澤教育長) 板柳北小学校が27人、板柳南小学校が25人、小阿弥小学校が10人、板柳東小学校が10人となっており、管内の合計72人である。

問 複式学級について伺いたい。

答 (永澤教育長) 2個学年複式学級だが、引き続き2つの学年の児童、または、生徒で編制する学級で、16人を基準としている。平成30年度において、板柳東小学校の3年生の児童が転校して、新年度より東小学校の3年生と4年生が複式学級の予定になった。

問 町長はこの現状をどのように考えるか。

答 (成田町長) 将来、児童数がさらに減っていくと考えているので、4校の統合が望ましいということではこれまでも再三お話ししてきた。

ただ、財政的な問題もあるので、まずは中学校改築工事を優先して進めていきたい。児童数の減少は、健全な教育の場でもなく、スポーツでもいろいろ制限が出てくると思うので、今後の大きな課題となると思う。

子どもの虐待

問 子どもの虐待の相談があった場合、どこの課が担当することになるのか。そして、現在町では虐待についての報告があるか。

答 (成田町長) 町に子ども虐待の通報、相談があった場合は、介護福祉課が対応することになっている。また、関係機関と連携、協力するなどして、虐待防止のための適切な対応をとりたいと考えている。町への虐待に関する報告はない。

問 虐待の件数の中で一番多いのは心理的虐待で

50%、身体的虐待が26%、ネグレクトという育児放棄が20%、性的虐待が1.3%という報告が県からされている。板柳町では0件と報告しているのか。

答 (吉田介護福祉課長) 町のほうに報告のある虐待については、現在0件である。児童相談所などへ連絡の行っている虐待については、町では現在把握していない。

高齢者の移動手段

問 今後の高齢者の移動手段の確保について、町長はどのように考えているのか。

答 (成田町長) 運転免許を自主返納した方にはタクシーの運賃割引など民間企業のみならず、さまざまな優遇制度があるので、こうした情報提供に努めながら、運転をしなくても周囲のサポートなどを活用して、安心して生活を送れるよう支援したい。

また、町では交通手段がない方の利便性を図るため、板柳中央病院の患者送迎バスを利用できるので、町民

の皆様周知したい。

問 大型バスの購入が予算計上されているが、使道はどうなるか。

答 (大井総務課長) 現在使用している福祉バスは購入から約28年経過している。毎年故障が続いている。その代替として今回予算計上している。

公共施設の洋式トイレ設置状況

問 町の公共施設の洋式トイレの設置状況について伺いたい。

答 (成田町長) 町の各施設に洋式トイレを設置している。洋式化の要望が多い施設については、構造等を確認した上で、順次改修を検討したい。

問 洋式トイレの目標の数値や、改修の数値はあるか。

答 (成田町長) 洋式トイレがない、足りないところは調査して、検討していきたい。洋式トイレの目標値等についてはない。

議会を傍聴しませんか

次の定例会は6月です

<議会日程のお知らせ(予定)>

月日		内 容
6月7日(金)	本会議	特別委員会報告等、提案理由の説明
6月10日(月)	本会議	一般質問
6月11日(火)	常任委員会	総務産業厚生・福祉建設文教
6月12日(水)	本会議	委員長報告等、質疑、討論、採決

※開催時間はいずれも午前10時です。

傍聴者名簿に住所、氏名、年齢を記入していただければ、どなたでも本会議を傍聴することができます。なお、傍聴できる人数は51人となっております。





松森 俊逸

板柳高校廃校に伴う校舎等の利活用

問 板柳高校は2021年度に募集を停止し、2022年度末をもって廃校するが、廃校後、維持管理をせずに放置すれば、老朽化が進み、再び使用する時点では相当の修繕等が発生するものと考えられる。

公民館や町民図書館等に隣接する板柳高校の譲渡利活用は大方の町民の理解を得られると考えるが、今から県と協議する考えはないか。

答

(成田町長)

板柳高校は現在も学校施設として利用されている。現段階では町から積極的に県と協議する時期ではないと考えている。

問 廃校決定後の将来のまちづくりについて、板

柳高校という施設は、町長の頭の中にあるまちづくりには影響を及ぼしているか。

答

(成田町長)

現在生徒がいて、施設も使用されているので、現在どうこうというふうには言わない立場にはないと思っている。

町発注の各種建設事業における設計業者

問

設計業者の選定はどのような手順で進められてきたのか。

答

(成田町長)

基本的に入札で契約の相手方を決定している。役場庁舎耐震診断業務委託、加工場改築工事設計業務委託、青柳館浴場改築設計業務委託については、指名競争入札で行っている。板柳中学校改築に伴う基本設計・実施設計業務委託については、全国の高い専門技術等がある業者を募集して公募型プロポーザル方式により選定している。青柳館耐震診断業務委託については、履行期限短縮等の有利性から、随意契約で行っている。

幼保無償化に伴う給食費

問

本年10月から、0〜2歳児は住民税非課税世帯、3〜5歳児は全世帯が無償化になるが、給食費に関しては保護者が実費負担することになる。

給食費は主食費と副食費に分けられていて、これまでは利用料に副食費が組み入れられていたため、実費負担になれば実質持ち出しが増える可能性がある。

幼保無償化で持ち出しが増えるような矛盾を是正するためにどのような対策を講じるのか。

答

(成田町長)

3歳以上の子供に関して、副食費について実費徴収を基本としている。対策については、近隣市町村からの広域入所の関係もあるので、10月の無償化開始に向けて情報収集を行いながら内容を検討したい。

問

現在住民税非課税世帯に關しては副食費が免除されている。当町における免除対象の世帯及び児童の数は。

答

(若田介護福祉課長)

2月末現在で無償化対象の1、2号の認定については、世帯数で36世帯、児童数でも36名となっている。

学童保育

問

学童保育の運営に関して運営自治体の自由裁量を拡大する方針を昨年末に政府が決定し、自治体が地域の実情に応じた条例制定ができるようになった。当町においてはどのような学童保育条例の制定を模索しているのか。

答

(成田町長)

国の動向を踏まえながら、職員の配置基準等が緩和された場合においては、内容を十分確認しながら、学童保育サービスが低下しないように努めていきたい。

問

学童保育の時間延長の条例改正をぜひ早めに検討してもらいたい。

答

(成田町長)

時間延長については、教育委員会、学校等の協力が必要なので、協力をいたしながら、ぜひとも進めていきたいと考えている。

運動部活動週休2日

問

スポーツ庁は2018年3月に運動部活動の週休2日のガイドラインを出した。

本件について当町における対応策を以前質問したが、県教委の指針策定をもって対応するとの答弁であった。昨年末に県教委から運動部活動の指針が発表されたが、当町教委における指針策定目処はいかがなっているか。

答

(永澤教育長)

板柳町運動部活動の指針を2月の教育委員会定例会において承認をいただき、平成31年4月より運用するところである。

問

2月に策定しているのであれば、議会に資料配付するなり、報告があつてしかるべきだと思つている。教育委員会独自の何かしらの目玉はあるのか。

答

(永澤教育長)

国、県の指針を踏まえて決定した。なお、福祉建設文教常任委員会のほうで、お話ししたいと思つている。

任 査 会 審 委 員 常

総務産業厚生 常任委員会

■黒星病防除

Q 補助の対象は個人単位が、それとも防除組合へ補助を行うのか。

A 組合に加入しなければいけない要件はない。リンゴ農家であれば対象になる。

■平成29年度の実績は。

A 496万3,967円の実績となっている。これは、4月に助成した1回である。

■働き方改革

Q 病院は平均残業時間、どれくらいか。

A 技師に関してはほぼ定時に帰れる状況。ただし、技師や薬剤師は、緊急時に必要があれば呼び出しがあるので、それについては手当を出している。看護師は月平均2〜3時間である。

Q 役場職員はどのくらいか。
A その部署、その時期によっては大分忙しい時もあるが、できるだけ定時には帰るようにはしていきたい。

■消防庁舎耐震診断

Q 消防庁舎耐震診断委託料、新築基本設計委託料の内容について。

A 消防庁舎新築のためには緊急防災事業債を活用する予定で、要綱の中に耐震診断を行わないと活用できないとされていた。その後耐震診断を行わなくても緊防債を活用できるように条件が緩和されるといふ情報が入った。耐震診断を行わなくても基本設計等に入れるのであれば、そこはこれから協議していきたい。

■経営体育成支援事業

Q 交付金のポイント制の内容について。

A 生産性や収益を向上させるための多くの項目があり、それらを満たすことでポイントが加算され、条件を満たすと補助金が交付される。項目の例として、規模拡大、省力化、地域に起業、女性の起業などがある。

Q 補助金が交付されるポイントの目安は。

A 予算措置をお願いしたもののについては、10ポイント程度になる方を目安に申込みをとっている。

■青柳館浴場

Q 完成はいつ頃か。

A 現段階で、今年の12月末のオープンを目指している。



福祉建設文教 常任委員会

■部活動指導員

Q 各種目の認定資格を持った人が対応するのか。

A 資格の有無は問わない。

Q 報酬を1時間あたり上限1,600円とした根拠は。

A 国で始まった事業であり、そこに合わせている。

Q 今後、文化部についても適用されるか。

A 文化部の指導者はいないが、出てきた場合は運動部に準じた扱いにする予定。

■小中学校の除雪委託

Q 小学校4校と中学校1校の除雪委託料が同程度であるが理由は。

A 中学校の体育館裏側の先生方が車をとめる所や、新たに設けた進入路のほうの除雪も必要となり、時間がかかるため。

■公営住宅長寿命化計画

Q 場所と計画策定の目的は。

A 広栄団地といたや北団地。長く使うための予防保全型の維持管理に努め、計画的な修繕を行いたいと考えている。

■健康まつり

Q 事業内容は。

A 8月に行く予定で、町民祭のようにブースを設け、ステージの上で講演や寸劇等を行い、目玉としてスポーツや健康についての講演を行いたいと考えている。

Q 単年度か。
A 毎年行う予定である。

■骨髄移植ドナー支援事業
Q 事業の内容と助成金の出し方について。

A 骨髄を提供するドナーは1週間ほど入院が必要となる。ドナーとなる方へ1日当たり2万円掛ける日数を助成し、上限は7日間。さらに、勤め人の方は、その事業所に対して1日当たり1万円掛ける休んだ日数を助成する。

■カラーマンホール

Q マンホールカードを作成する予定は。

A 今年度の予算の中では計上していない。

Q 町をPRする一つのツールになると思うが。

A 担当課に地域の市町村の動向を見ながら要望させた。



予算特別委員会 総括質疑

平成31年度の各会計予算を審議するため、議員全員で構成する予算特別委員会（委員長・長内良蔵議員／副委員長・成田陽光議員）を設置し、3月11日・12日の2日間にわたり詳細に審議しました。

数多くの質疑がありましたが、その一部を紹介します。

※平成31年度各会計予算の詳細については、広報いたやなぎ4月号に掲載されています。

◎スクールバス

■質問 今浩一委員

冬期間におけるスクールバスの無料化を福祉建設文教常任委員会一致意見として要望し、検討すると答弁をいただいたが、今回の予算には計上されていない。スクールバスについての町長の考えを伺いたい。

▲成田町長

今回は予算計上していないが、板柳中学校新校舎の改築工事終了後の第2段階として検討していきたい。

◎国際交流員

■質問 成田陽光副委員長

国際交流費の筆耕翻訳料59万8,000円について、今年もJET(※)のほうに予算をあげていないということか。通訳のほうも外注になると思うが、対応は。

▲大井総務課長

昨年中国を訪問したが、通訳を委託して事業を遂行した。今年は小学生を中国へ派遣する予定であるので、また通訳委託したいと考えている。

◎消防庁舎建替

■質問 今浩一委員

今の場所に建てるのか、それとも違う場所に建てるのか、場所は決まっておらず、委託業者が場所を選定すると説明を受けたが、その

ようなやり方は余り聞いたことがない。場所も土地も決まらずに、どのようにして予算計上をしているのか。

▲成田町長

場所はすぐく大事であり、弘前消防本部、消防署、消防団、関係団体等の意見を聞きながら、議会に相談して最終的に決めていきたい。場所が決まったら入札を発注したいと考えている。

◎大型連休中の対応

■質問 三戸玲子委員

大型連休期間の学校や保育所等の対応は。

▲芦田介護福祉課長

保育所について、5月1日と2日について対応すると聞いている。学童保育については検討していない。

▲八木橋病院事務長

病院について、4月30日と5月2日の午前中は開院すると町の広報に掲載している。内科と耳鼻咽喉科の診療を行うことにしている。

◎ふるさとセンターアクセス

■質問 今浩一委員

内容は、道路を引っ張るための委託なのか。

▲村上企画財政課長

ふるさとセンターの施設と一体化したアクセス道路の整備計画を検討し、またリング園の中を通る道路を

イメージして、計画の策定を求めている。

■質問 今浩一委員

過去にもアクセス道路については検討してきたと思うが、その案についても考慮したのか。

▲成田町長

線路の下をくぐらせる、橋を架ける、既存の踏切を利用してセンターへ直接アクセスさせる案が過去にあった。場所が決まったら、議会に説明して場所を選定していきたい。

■質問 今浩一委員

過去の案も踏まえていろんな案を策定して、いい案が出たら、議員に案を示して、進んでいくという考えでよろしいか。

▲成田町長

ふるさとセンターは、地域活性化の拠点で大事な施設である。大変大きい事業になるので、アクセス道路については決まったら、皆さんと相談して最終的に決めていきたい。

◎地下貯蔵タンク

■質問 成田肇委員

板柳町の公共施設の地下タンクの数は。

▲三浦生涯学習課長

板柳町公民館、多目的ホールあぶるに2カ所ある。

▲大井総務課長

小学校4校と板柳中央病

院にある。役場、消防署、ふるさとセンターにはない。

◎中学校のエアコン

■質問 北島弘美委員

エアコンの設置が計画にないが、弘前市では現存する学校にエアコンを全部設置するように計画している。子どもたちの健康を害すので、予算を追加してでもやるべき問題だと思っっているがいかがか。

▲成田町長

教育委員会、学務課のほうと詰めて、前向きに、できるように検討していきたい。特別委員会があるので、そちらで最終判断していただきたい。

◎職員の人材育成

■質問 佐藤洋治委員

役場職員の人づくりについて、町と県の情報のパイプを太くするために一人でも県庁に向かせたらどうか検討してもらいたい。

▲成田町長

県のほうに職員を派遣している県内の市町村もある。県とのパイプを太くして、情報を他の市町村よりも早目に吸収する効果があると思う。職員の育成の一環にはなるが、経費的な事情もあるので内部で検討したい。

(※) JET：諸外国の若者を特別職の地方公務員として任用し、地方公共団体で国際交流のために働いたりする機会を提供する事業

◎狭小路線

■質問 佐藤洋治委員

前に一般質問したことだが、冬期間救急車両が入れない町道が多数あるということを知った。それ以来どのくらい解消されているか。

▲竹内地域整備課長

現在狭小路線が何路線あるかについて、当時の答弁では18路線あるとお答えした。

その後の状況だが、柏木、牡丹森地区の解消がなされた。平成31年度に五幾形地区の拡幅に向けての測量委託料を計上している。それが完成、拡幅が整えば残り16路線となる。

◎融雪溝

■質問 成田肇委員

岡本玉川環状線融雪溝測量設計委託料の岡本玉川線の場所と着工までの期間は。

▲竹内地域整備課長

岡本玉川環状線であるがむらかみのそば屋のところから田中町の旧パチンコ屋があった路線である。平成32年度から工事着手を予定している。終期に関しては、事業を活用するに当たり、社会資本総合整備交付金を活用予定であり、そちらの予算配分等もあるので、現時点では未定である。

◎PR動画作成委託

■質問 成田陽光副委員長

ホームページに載せることを想定してつくられていないかと思えなかったが、その辺の計画について。

▲村上企画財政課長

準備ができるのであれば、検索できるような状態に進めることも考えていきたい。

◎ゆるキャラグッズ委託

■質問 成田陽光副委員長

ゆるキャラのグッズの委託料が86万円計上されているが、動画視聴会の際にはゆるキャラがPR動画に入っていないかと思う。今後PR動画にゆるキャラを使う予定はあるか。

▲成田町長

完成品であり、これをまたいじったりするのは大変なことになる。ゆるキャラについては次回のPR動画を作製する際に活用したい。

■質問 成田陽光副委員長

類似のキャラクターがあった場合の想定はしているか。専門家に調査などをさせたのか。

▲村上企画財政課長

専門家には調査は頼んでいない。キャラクターについての対策だが、商標登録などで済むのか、それ以上のことがあるのか調べて対応したい。



◎いとみち(※)

■質問 今浩一委員

町としてもうまく活用して、PR活動する考えはないか。

▲成田町長

パンフレット、町勢要覧等に載せるなど、どのような活用方法があるか内部で検討したい。

◎期日前投票

■質問 葛西幸男委員

板柳町では期日前の投票所が2階になっているが、高齢者や体の不自由な人のために、1階でできないか。

▲大井総務課長

選挙管理委員会を2階の事務室のほうに設けている。システム上、選挙人名簿等の資料がたくさんある。今の場所が一番機能的に發揮できている。体の不自由な方や高齢者の方のために、エレベーターや車椅子等も準備しているので、係の者がスムーズに誘導したいと考えている。

◎給食費

■質問 三戸玲子委員

準要保護の児童生徒の給食費1,365万円、これは全体の何%に当たるのか。

▲對馬学務課長

準要保護児童生徒就学援助の給食費については、218人の方に援助している。割合で26か27%だと思う。

■質問 葛西清人委員

準要保護、要保護の基準は。

▲對馬学務課長

要保護世帯については、生活保護世帯になっている。準要保護世帯についてはいろいろな基準がある。多い基準は生活に困窮しているというのが一番の理由となっている。

▲田澤産業振興課長

大豆の7つの営農集落の方々に1反歩当たり1万円の助成を行っている。生産調整という形で国の政策が大きく転換している関係で、町においても農業再生協議会という組織の中で、毎年の生産調整を行っている。

県から生産調整の割り当てが来た中で、町の生産状況等を考えながら、転作する面積を決定し、農家の方々に周知、協力していただく形で転作を進めている。

■質問 松森俊逸委員

チャレンジできるのであれば、近い将来に向けて、大豆の他にも試験ほ場を模索する気持ちはないか。

▲成田町長

農家の所得向上につなげていくことが大事であるので、今すぐ新しい品種や作物などを実験することは考えていない。

◎青柳館浴場

■質問 葛西幸男委員

65歳以上の方の利用料を他町村では安くしていると聞いたが、板柳ではそういうことはないのか。

▲葛西ふるさとセンター所長

センターとしての独自の割引はない。

◎転作団地化育成支援事業

■質問 松森俊逸委員

事業の内容は。水田転作の今後の方向性は。



視察・研修レポート

福祉建設文教常任委員会視察研修

1月16日から18日の3日間の日程で、視察研修を行いました。近年古くなった公共施設や一般建物などを民間活性化団体のアイデアを取り入れ再利用、再活用している高知県高知市とその団体との意見交換を目的に行つたものです。

1日目は大阪までの移動日となり、インバウンド効果でにぎわう大阪での宿泊となりました。

2日目は大阪から瀬戸大橋を通り高知県高知市へと向かう予定でしたが、研修先の高知市担当者の方がインフルエンザにかかり研修ができないとの連絡が入り、研修を断念せざるを得ない状況となりました。

この日1月17日は今から24年前に起きた阪神・淡路大震災の日で、大阪、兵庫県神戸市など、朝から追悼行事に追われていた日でもありました。高知市への研修を断念した私たちは、急遽この震災被害が大きかった神戸市灘区へと向かい、防災センターを中心に行われていた記念式典や記念ウオーク

ク、また当時の被害状況の写真、映像、資料などを見るとともに当時の話を聞くことができました。まちの復興スピードの速さを感じたと同時に、東北地方に甚大な被害を与えた東日本大震災のことを思い出し、宿泊地の香川県へと向かいました。

3日目は、外国人観光客の人気上位でもあるアートのまち直島へと立ち寄り、島全体でアートの町並みを表現している現場を視察し、高松空港から帰路につきました。

今回の視察研修は突然のハプニングがあり、予定どおりの視察研修とはなりませんでしたが、まちの発展のためにいろんなことを学び、困難を乗り越え、取り組んでいこうと感じた視察研修でありました。

参加者は、長内良蔵副委員長、北島弘美委員、葛西幸男委員、成田陽光委員、議事事務局齋藤主査、そして私、委員長今浩一でした。

(委員長 今 浩一)



人と防災未来センター



アートの街並み(直島バスターミナル)



ひょうごメモリアルウォーク

総務産業厚生常任委員会視察研修

1月29日から31日までの3日間の予定で、参加委員、葛西清人委員、久米田玄佐雄委員、私委員長三戸と、随員職員、対馬事務局長の4名で、茨城県銚田市を中心に視察研修を行いました。1日目は、強風のため列車の運休やおくれが生じ移動日だけとなり、宿泊地の水戸市には夕方到着しました。

2日目は、水戸市から銚田市に向かい、9時50分から銚田市役所において銚田市農林行政の取り組みについて研修を行いました。銚田市は、平成28年度農業産出額が愛知県田原市に次いで全国2位であり、芋類と野菜においては全国1位であり、農業が基幹産業となっている市でありました。また、露地栽培のほかパイプハウスを利用した施設栽培も盛んで、特にメロン、イチゴ、トマト、カンショは全国でも有数の生産地となっております。

そのような銚田市においても、年々高齢化・少子化に伴

う農業後継者不足から、将来的に現在の生産力を維持できるかどうか課題となっているそうです。現在約1,800人から1,900人の外国人実習生が来ていて労働力として欠かせない存在となっております。年間雇用でなければ受け入れが難しく、よって作物が葉物野菜に切りかわっている状況にあるということです。

また、銚田市産地ブランドアップ振興協議会を中心として、関係団体、協力企業等と連携した加工品の開発や流通戦略を展開することで農産物の付加価値の向上を図るとともに、新たな販売拡大、需要喚起を促し、農業者の所得向上及び農業の振興を図るためさまざまな事業を行っております。特に、野菜の生産額が1位なのに銚田市の読み方すら知らない若い人がいることから、PR活動を重視しており、多様な媒体、新聞、ラジオ、SNSなどを活用したPRや首都圏を中心とした各方面での消費宣伝、レストランなどで

のフェア、キャンペーンをさまざまな形で実施しております。また、「銚田の誇り」として銚田市出身の芸人カミナリの6秒野菜漫才のPR動画を多数作成しており、PR活動に力を入れていることが感じられました。

銚田市での研修を終え、午後には東京に戻り、午後6時から木村次郎衆議院議員と懇談しながら会食することができました。

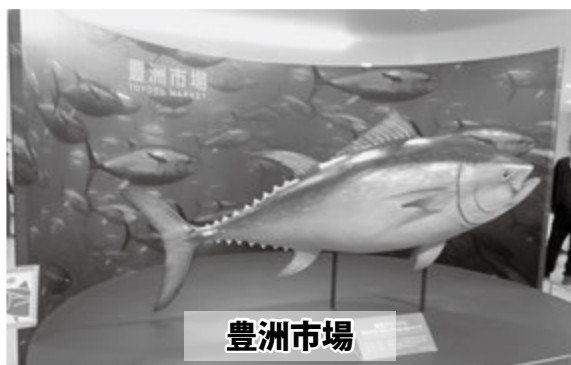
3日目は、昨年10月に開場した豊洲市場を視察し、帰路につきました。

今回の研修では、野菜が中心の銚田市は首都圏に近いという点では販売経路、販売方法などは当町とは異なりますが、後継者不足、労働力不足に関してはどこでも同じであり、既に多くの外国人実習生を受け入れている現状は、今後の当町における労働力不足等の解決方法として考えさせられる研修でありました。

(委員長 三戸 玲子)



銚田市役所にて



豊洲市場

編集後記

以前にも五林平を取り上げましたが、今回も五林平を取り上げました。

子ども達の勇壮な姿で振る舞う太刀振りには、それは見事なものです。

町内外から集まった見物客からたくさん拍手が送られていました。

さて、編集にあたっては、五人のメンバーが試行錯誤しながら懸命に頑張りました。

町民の皆さん、一度議会を傍聴してみませんか？
お待ちしております。

(委員 久米田 亥佐雄)

【発行責任者】

議長 葛西 清人

※第22号発行予定は8月9日頃です。

議会だよりへのご意見・ご感想をお聞かせください。

一日で分かる審議結果

◆第13回定例会

議案	結果
青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合同約の変更について	全員可決
青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合同約の変更について	全員可決
板柳町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	全員可決
板柳町報酬及び費用弁償条例の一部改正について	全員可決
板柳町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	全員可決
板柳都市計画下水道事業受益者負担金条例の一部改正について	全員可決
平成30年度板柳町補正予算（一般会計ほか6件）	全員可決
平成31年度板柳町一般会計予算（一般会計ほか7件）	全員可決



開催日	会議等名
1月	9日 町例月出納検査
	15日 議会だより編集特別委員会
	23日 議会だより編集特別委員会
	28日 議会だより編集特別委員会
2月	5日 議会運営委員会(定例会案件)
	6日 町例月出納検査
	8日 西北津軽郡町議会議長会議長・事務局長会議
	19日 青森県町村議会議長会定期総会
	20日 弘前地区環境整備事務組合議会定例会
	〃 津軽広域連合議会定例会
	〃 弘前地区消防事務組合議会定例会
	22日 西北五広域福祉事務組合議会定例会
	25日 議案説明会
	28日 議会運営委員会(定例会案件)
〃 国民健康保険運営協議会	

議会の動き (1月～3月)

開催日	会議等名
3月	5日 本会議(定例会日程、町長の提案理由等)
	〃 議員全員協議会
	7日 本会議(一般質問・3人)
	8日 総務産業厚生常任委員会(所管事務調査)
	〃 福祉建設文教常任委員会(所管事務調査)
	11日 予算特別委員会
	12日 予算特別委員会
	13日 本会議(委員長報告、採決、閉会)
	15日 町例月出納検査